

令和7年度 下松市立下松中学校

学校評価集計結果(後期)



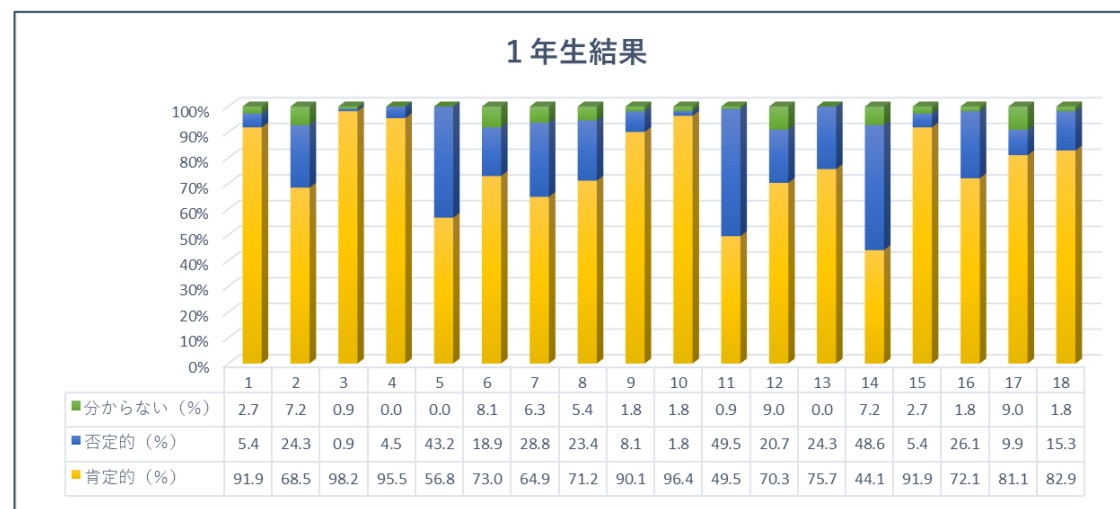
<グラフの見方>

*否定的 :回答が「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」の割合

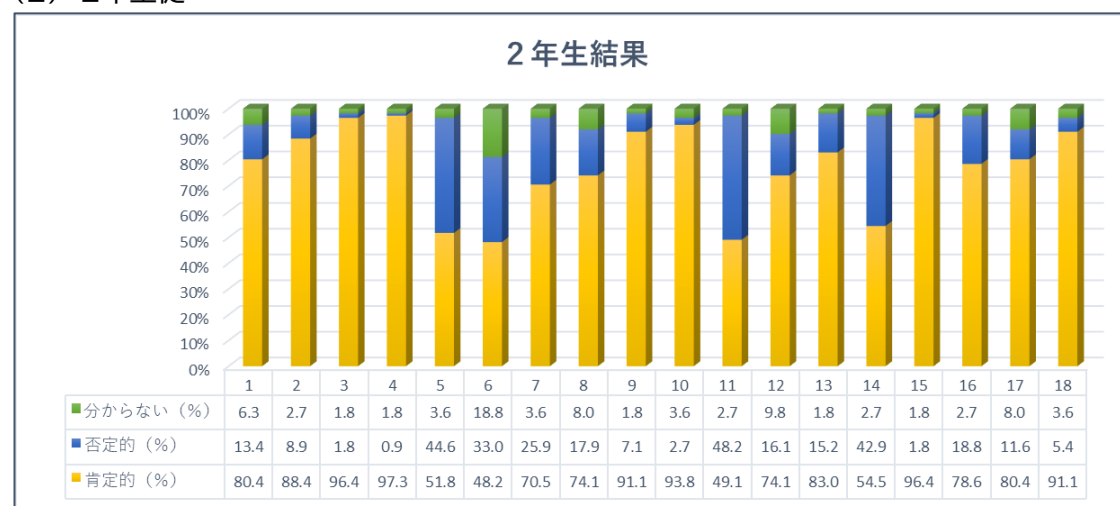
*肯定的 :回答が「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合

1 生徒に関する集計結果

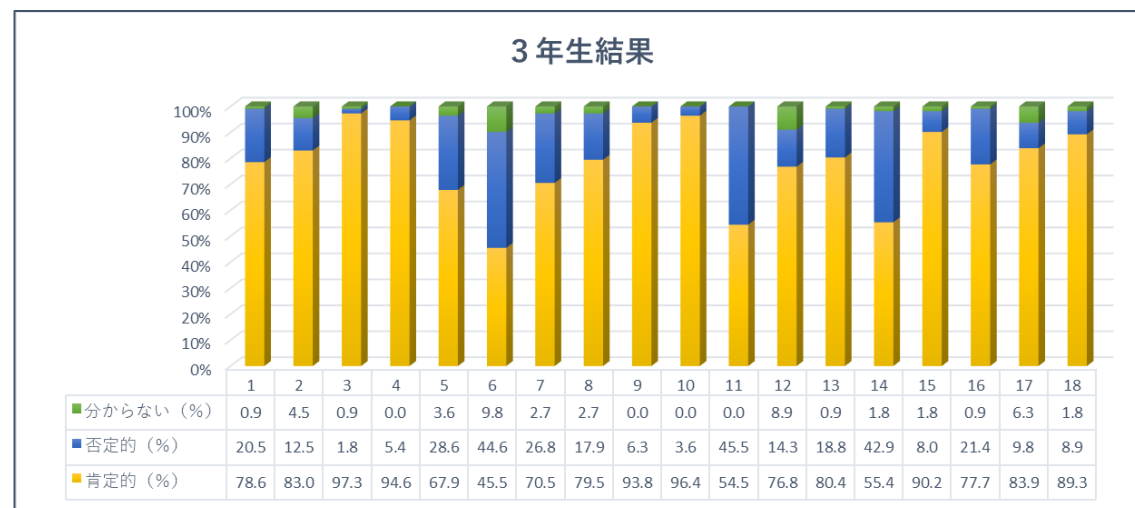
(1) 1年生生徒



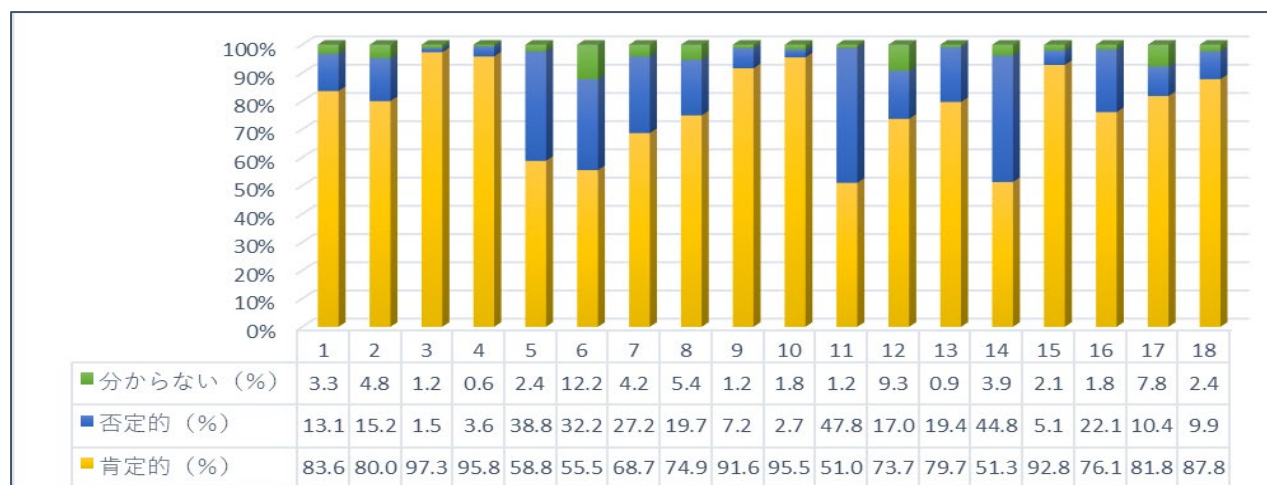
(2) 2年生生徒



(3) 3年生生徒



(4) 全校生徒



【質問内容】生徒用

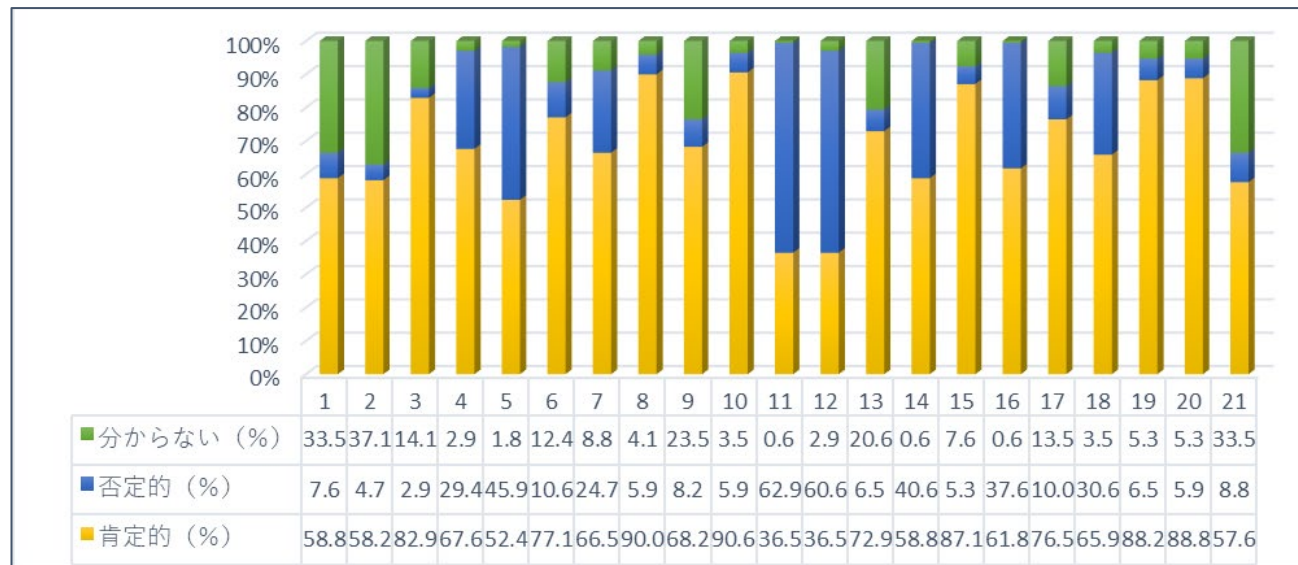
知	☆	(1) 授業は、楽しくわかりやすい。
	☆	(2) めあてが提示され、振り返り活動の時間がある。
	☆	(3) 授業では、パソコンやタブレット等の機器を使った学習が行われている。
	☆	(4) 授業中に、よく考えたり、友だちと話し合ったりして理解するようにしている。
	▲	(5) 家庭学習を計画的に行っている。
	▲	(6) 地域の人に教えてもらったり、地域のことを学んだりする学習が行われている。
徳		(7) 「あいさつチャレンジ」を意識して、明るい いつでも 爽やかな つながる あいさつ をしている。
		(8) ていねいな言葉づかいで話している。
	☆	(9) 道徳の授業で自分の考えや行動を振り返っている。
	☆	(10) 友だちと仲良く、協力して活動している。
	▲	(11) 本をよく読んでいる。
		(12) 自分が生活している地域に貢献したいと考えている。
体		(13) 健康維持や体力向上を意識し、運動や食事をしている。
	▲	(14) 3つの時刻を守っている。(勉強の開始時刻、夜寝る時刻、朝起きる時刻)
	☆	(15) 避難訓練や交通の学習等に真剣に取り組み、自他の安全を考え、行動している。
		(16) 家庭で SNS の使用に関するきまりをつくって機器(スマホ、タブレット、ゲーム機等)を使用している。
	☆	(17) 学校には、相談しやすく悩みなどを聞いてくれる先生がいる。
	☆	(18) 目標を掲げ、その達成に向かって努力している。

※「☆」を付けている項目……成果のある項目:全校生徒の肯定的な回答の割合が80%以上の項目

※「▲」を付けている項目……課題のある項目:全校生徒の否定的な回答の割合が30%以上の項目

2 保護者に関する集計結果

(1) 全校保護者



【質問内容】保護者用

知		(1) 学校は、楽しくわかりやすい授業にするための工夫を行っている。
		(2) 授業では、めあてが示され、振り返り活動の時間がある。
	☆	(3) 学校は、パソコンやタブレット等の ICT 機器を使った授業を行っている。
		(4) お子さんは、自分の考えをまとめたり、伝えたりすることができる。
	▲	(5) お子さんは、家庭学習を計画的に行っている。
		(6) 学校は、地域の人とかかわったり、地域のことを学んだりする機会を設けている。
徳		(7) お子さんは、「あいさつチャレンジ」を意識して、明るいつつでも 爽やかな つながる あいさつを心がけている。
	☆	(8) お子さんは、時と場に応じた言葉づかいで話している。
		(9) 学校は、道徳の授業等を充実させ、規範意識や思いやりの心を育てることに取り組んでいる。
	☆	(10) お子さんは、友だちと仲良く、協力して活動している。
	▲	(11) お子さんは、本をよく読んでいます。
	▲	(12) お子さんは、積極的にボランティア活動に参加している。
体		(13) 学校は、健康維持や体力向上に向けて、適切な指導を行っている。
	▲	(14) お子さんは、3つの時刻を守って生活している。(勉強の開始時刻、夜寝る時刻、朝起きる時刻)
	☆	(15) 学校は、安全対策(避難訓練、交通安全、熱中症、感染症対策等)を適切に行っている。
		(16) お子さんは、SNS の使用に関するきまりを守って機器(スマホ、タブレット、ゲーム機等)を使用している。
		(17) 学校は、生徒に寄り添い、生徒や保護者の方の声に傾聴している。
その他		(18) お子さんは、目標を掲げ、その達成に向かって努力している。
	☆	(19) 学校は、学校だより、学年だより、HP 等で情報発信に努めている。
	☆	(20) 教職員は、電話対応などの接遇がよく、丁寧な言葉づかいができています。
		(21) 教職員は、働き方改革を推進し、質の高い教育活動を行っている。

※「☆」を付けている項目……成果のある項目:肯定的な回答の割合が80%以上の項目

※「▲」を付けている項目……課題のある項目:否定的な回答の割合が30%以上の項目

3 学校運営協議会委員に関する集計結果



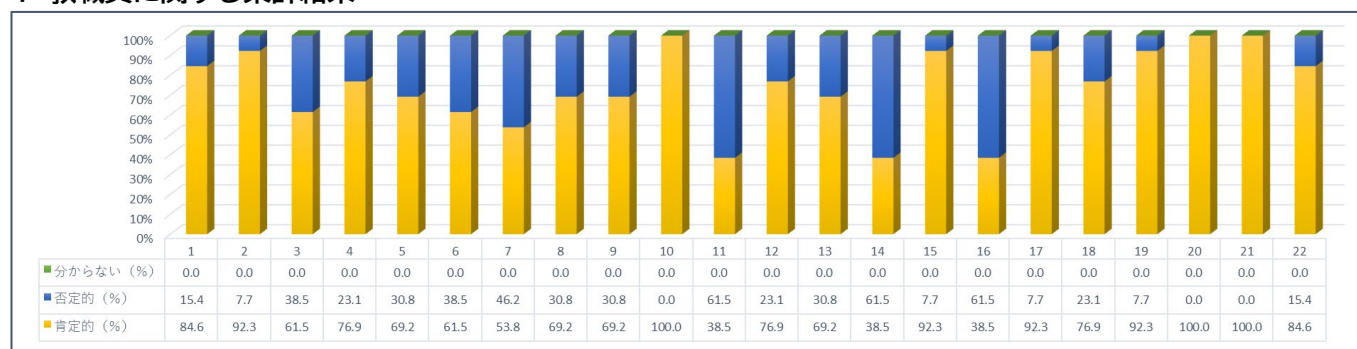
【質問内容】学校運営協議会用

知	☆	(1) 学校は、楽しくわかりやすい授業にするための工夫を行っている。
	☆	(2) 授業では、めあてが示され、振り返り活動の時間をとっている。
	☆	(3) 学校は、パソコンやタブレット等の ICT 機器を使った授業を行っている。
	☆	(4) 中学生は、自分の考えをまとめたり、伝えたりすることができる。
	☆	(5) 学校は、中学生の家庭学習を充実させようと機会を捉えて指導している。
	☆	(6) 学校は、地域の人とのかかわったり、地域のことを学んだりする機会を設けている。
徳	☆	(7) 生徒は、「あいさつチャレンジ」を意識して、明るいいつでも 爽やかな つながる あいさつをしている。
		(8) 中学生は、時と場に応じた言葉づかいで話している。
		(9) 学校は、道徳の授業等を充実させ、規範意識や思いやりの心を育てることに取り組んでいる。
	☆	(10) 中学生は、友だちと仲良く、協力して活動している。
	☆	(11) 中学生は、本をよく読んでいる。
	☆	(12) 中学生は、積極的にボランティア活動に参加している。
体	☆	(13) 学校は、健康維持や体力向上に向けて、適切な指導を行っている。
	☆	(14) 中学生は、3つの時刻を守って生活している。(勉強の開始時刻、夜寝る時刻、朝起きる時刻)
	☆	(15) 学校は、安全対策(避難訓練、交通安全、感染症対策等)を適切に行っている。
	☆	(16) 中学生は、SNS の使用に関するきまりを守って機器 (スマホ、タブレット、ゲーム機 等)を使用している。
	☆	(17) 学校は生徒に寄り添い、生徒や保護者、地域の声に傾聴している。
その他	☆	(18) 中学生は、目標を掲げ、その達成に向かって努力している。
	☆	(19) 学校は、学校だより、学年だより、HP 等で情報発信に努めている。
		(20) 教職員は、電話対応などの接遇がよく、丁寧な言葉づかいができています。
		(21) 教職員は、働き方改革を推進し、質の高い教育活動を行っている。

※「☆」を付けている項目……成果のある項目:肯定的な回答の割合が80%以上の項目

※「▲」を付けている項目……課題のある項目:否定的な回答の割合が30%以上の項目

4 教職員に関する集計結果



【質問内容】教職員用

知	☆	(1) 楽しくわかりやすい授業にするための工夫を行っている。
	☆	(2) めあてを提示し、振り返り活動を通して、学習内容の定着を図るなど、振り返り活動をさせている。
		(3) ICT 機器を活用した授業を行っている。
		(4) 自分の考えをまとめたり、伝えたりすることができる学習場面を設けている。
		(5) 家庭学習を計画的に行えるよう、機会を捉えて指導している。
		(6) 地域に目を向けた活動を取り入れ、ふるさとを愛する心の育成を図っている。
徳	▲	(7) 生徒は、「あいさつチャレンジ」を意識して、明るい いつでも 爽やかな つながる あいさつをしている。
	▲	(8) 生徒は、時と場に応じた言葉づかいで話している。
	▲	(9) 今年度の重点項目「相互理解、寛容」を意識した道德の授業づくりに取り組んでいる。
	☆	(10) 生徒は、友だちと仲良く、協力して活動している。
	▲	(11) 生徒が読書に親しむことができるような指導を行っている。
		(12) 生徒は、積極的にボランティア活動に参加している。
体		(13) 健康維持や体力向上に向けて、適切な指導を行っている。
	▲	(14) 生徒は、3つの時刻を守って生活している。(勉強の開始時刻、夜寝る時刻、朝起きる時刻)
	☆	(15) 学校では、避難訓練、交通安全、熱中症、感染症対策等、危機管理体制が整っている。
	▲	(16) 生徒は、家庭で SNS の使用に関するルールをつくって機器を使用している。
	☆	(17) 日頃から生徒にかかわり、教育相談等を通じて生徒と向き合うことができている。
その他		(18) 生徒は、目標を掲げ、その達成に向かって努力している。
	☆	(19) 学校は、学校や生徒の様子について、情報発信に努めている。
	☆	(20) 電話対応などの接遇において丁寧な言葉づかいで対応できている。在校等時間外業務の削減のために、働き方を工夫している。
	☆	(21) 報告、連絡、相談に努め、協働で課題解決にあたっている。
	▲	(22) 学校では、勤務の適正化、公務の効率化が図られている。

※「☆」を付けている項目……成果のある項目:肯定的な回答の割合が80%以上の項目

※「▲」を付けている項目……課題のある項目:否定的な回答の割合が30%以上の項目

5 「学校評価」結果分析

【生徒の結果より】

<成果>

後期は、ICT を活用した授業は引き続き高水準を維持し、考え・話し合いを通して理解する学習が前期より向上した。道徳では自分の考えや行動を振り返る姿勢が伸長し、友だちと協力して活動する関係性も高い水準で保たれている。また、安全教育(避難訓練・交通安全)への取組は前期より向上し、学校としての指導が生徒の意識に定着していることがうかがえる。

<課題>

一方で、家庭学習の計画性や読書習慣、生活時刻の遵守、SNS 利用の家庭ルールなど、家庭生活と結び付く項目は前期より低下が見られ、家庭との連携を含めた生活・学習習慣の再構築が課題である。また、進んで気配りをすることや言葉づかいなど、日常の自律的な行動面でも低下が見られるため、道徳・学級活動での学びを生活場面につなげる具体的な指導の充実が必要である。地域連携は微増したものの依然低位であり、体験の充実と取組の見える化が求められる。

【保護者の結果より】

<成果と課題>

学校の安全対策、情報発信、教職員対応、ICT 活用は保護者から高く評価された一方、家庭学習・読書・生活リズム・SNS 等の生活習慣面の課題が大きく、加えて授業等の取組が保護者に十分伝わっていない項目が見られる。

【学校運営協議会委員の結果より】

<成果と課題>

学校運営協議会委員からは、授業改善や ICT 活用、地域連携、安全教育など、本校の教育活動全般に対して高い評価が得られ、学校運営に対する信頼が示された。一方で、一部の取組については内容や成果が分かりにくいと考察できる回答もあり、教育活動の具体的な姿や生徒の成長を、より分かりやすく地域へ発信していくことが課題である。今後は、学校運営協議会を活用し、成果と課題を共有しながら、地域とともに学校づくりを進めていく必要がある。

【教職員の結果より】

<成果と課題>

授業改善(めあて・振り返り)と安全教育、相談体制、情報発信・接遇、協働的な組織体制は高く評価された。一方、ICT 活用の質の平準化、地域連携、主体的な気配りやあいさつ等の自律的行動の育成、生活リズム・読書・SNS 等の生活習慣面に課題が見られ、家庭との連携を含めた取組の強化が必要である。

【総合所見】

<成果>

- ICT を活用した授業や、考え・話し合いを重視した学習が、生徒・保護者・学校運営協議会委員・教職員のいずれからも高く評価されている。
- 生徒の結果からは、対話を通して理解を深める学習や、道徳における振り返り、友だちと協力して活動する姿勢が前期より向上している。
- 避難訓練や交通安全学習などの安全教育については、各立場から高い評価が得られ、学校の指導が生徒の意識に定着している。
- 保護者および学校運営協議会委員からは、教職員の対応や学校の情報発信、安全対策に対する信頼が示され、学校運営全般への評価は概ね良好である。
- 教職員の結果からは、授業改善(めあて・振り返り)や相談体制、協働的な組織体制が学校の強みとして共有されている。

<課題>

- 家庭学習の計画性、読書習慣、生活リズム、SNS の利用など、家庭生活と結び付く生活・学習習慣については、4者に共通して課題が見られる。
- 生徒の結果では、進んで気配りをすることや言葉づかいなど、日常場面における自律的な行動が後期に低下しており、道徳や学級活動での学びを生活に生かす指導の充実が必要である。

- ICT活用については一定の成果がある一方で、活用の質や取組の平準化が教職員の課題として挙げられている。
- 地域連携については、一定の評価は得られているものの、生徒・保護者・地域にとって取組の内容や成果が分かりにくい面があり、体験の充実と取組の見える化が求められる。
- 学校運営協議会を、成果と課題を共有し、改善につなげる協議の場として、さらに活用していく必要がある。